



令和5年度 施設の評価表

園名：常盤平駅前ナーサリースクール

評価日：令和 6 年3月31日

* 評価について * A…十分達成している B…概ね取り組んでいる C…取り組んでいるが、成果が十分でない

I.経営の重点に関わること

| 項目 | 内容 | 自己評価 | 課題点・改善案（確認項目参考） |
|---------------|--|------|---|
| 1 保育所・保育指針 | ・保育所保育指針・全体的な計画は園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて教育、保育のねらい、内容が総合的に展開されるよう編成されている。 | A | リーダー会議・ブロック会議・職員会議・HIROKOメソッド・全体的な計画により3つの柱と卒園までに育ってほしい10の項目を意識できるように年間指導計画に細かく誰でもわかりやすい表現の工夫をしながら、作成、実行、見直しを行っている。クラス別、個別の指導案についての作成についても同様、クラス、部署内での話し合い、見直し改善を行っている。 |
| | ・全体的な計画をより適切なものに改めていくという姿勢を全職員が持っている。 | A | |
| | ・指導計画を作成するにあたり、一人ひとりの子どもの発達過程や状況、クラスの実態について職員の共通認識のもとに作成している。 | A | |
| | ・子どもの発達状況、月や期の目標、教育、保育の実態について職員間で話し合う機会を設けている。 | A | |
| | ・就学先の小学校へ子どもの育ちを支える資料を確実に送付し、情報共有を図っている。 | A | |

II.各領域に関わること

| 項目 | 内容 | 自己評価 | 課題点・改善案（確認項目参考） |
|-----------------------------|---|------|---|
| 1 施設の保守点検 | ・施設の保守点検 | A | 設備点検・消防用設備点検・防災訓練（地域連携として消防署、スーパートップを含むビル内の連携を含む）不審者訓練・引き渡し訓練・害虫駆除等に取り組んでいる。固定遊具については、近隣散歩マップ作成し、公園でのヒヤリハットや遊ぶ前の下見、保育者による目視点検の実施をしてから使用している。 |
| | ・施設の清掃等 | B | |
| | ・防災への配慮 | A | |
| | ・防犯への配慮 | A | |
| 2 子どもの権利の尊重 | ・子どもの権利について職員全体で理解し、十分配慮している。 | A | 全国保育士会倫理綱領・児童憲章・個人情報保護マニュアル（プライバシーポリシー・情報管理マニュアル・鍵管理）・NG用語、千葉県・松戸市虐待マニュアル、松戸市保育の質のガイドライン等に基づいた保育の実施、毎月の園内研修・職員会議の実施、記録等に取り組んでいる。長期欠席児童や登園時間までの登園確認等行い、連絡がつくまで所在確認の徹底、保護者への協力を求めた。地域の関係各所との連携を継続的に行い、お子さんの人権の尊重と家庭における背景に寄り添い、個別面談を実施している。 |
| | ・保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉遣い、身体的虐待をしていない。 | A | |
| | ・長期欠席の子どもの状況把握をしている。 | A | |
| | ・子どもの様子で気になる事は関係機関に報告している | A | |
| | ・個人情報保護について職員全体で確認し十分配慮している。 | A | |
| 3 教育・保育施設並びに保育者の質の向上 | ・地域の状況を把握し、法人の目指す教育、保育方針を理解し園としての取り組みを職員へ伝えている。 | A | 児童福祉法、保育所保育指針を基にして全体的な計画・経営理念・経営ビジョン・保育教育目標・保育方針、保育教育目標をかみ砕き毎月のカリキュラムに落としこんでお子さんに提供している。年齢にあったまた個別の成長に合った計画、実行、その後の反省、改善に努めている。各種行事アンケートからのご意見やご感想、また個別の面談を通して、ご理解いただきつつ貴重なご意見に対して真摯に向き合い改善を継続している。 |
| | ・保育所保育指針を理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる。 | A | |
| | ・子どもと保護者のおかれた状況を受け止め保護者とのよりよい関係を築き良好に保つための努力をしている。 | A | |
| | ・利用者（保護者）の意見を聞き改善に努めている。 | A | |
| 4 環境 | ・保育者は、自身が子どもにとって重要な環境である事を十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている。 | A | 日々の清掃点検などを行いながら、子どもたちの成長、発達、季節にあった遊びを用意している。クラス環境としては、一人ひとりの配慮という点ではまだまだより良い改善ができると考えて保育者同士日々取り組んでいる。 |
| | ・各保育室は整理整頓され、雑然としていない。 | B | |
| | ・各保育室には、一人ひとりの成長発達を考慮した遊びを準備している。 | A | |
| 5 愛着形成 | ・保育者は一人ひとりの思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている。 | A | 児童憲章にあるようにお子さん一人ひとりに寄り添い、3つの柱を基本に卒園までに育ってほしい10の項目を意識し養護と教育が一体となるようお子さん一人ひとりに向きあい、お子さんと保育者の信頼関係、保護者信頼関係が築けるように努力している。 |
| | ・子ども同士が互いの気持ちや発信を受け入れられるように援助している。 | A | |
| 6 健康・安全 | ・乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助がおこなわれるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置付けるとともに評価・改善に取り組んでいる。 | A | 安全計画に基づき、お子さんの養護と教育が一体となるような保育教育を実施してきた。毎月のそれぞれのお子さんへの安全、衛生面の目標について、それに付随する保護者への注意喚起については、園だより、クラスレター保育参観等の行事を通じて配信、説明してきた。各種マニュアルの見直し、職員の安全に対する研修をプログラムとして実施し、継続的に職員指導している。実施訓練として、毎月の訓練に加えて、お子さんの月齢に合わせた日常訓練を職員全員が実施するプログラムを実施した。 生活面では職員同士、お子さんの健康発達、喫食状況について話し合い、保育士、栄養士と共に、それぞれの立場からの助言、改善計画等お子さんの年月齢に合わせ改善継続に努めている。 年間を通して手洗い、うがい排泄等、身近な感染対策も含め、年齢に合わせた保育者指導をしている。また5歳児は自ら率先して自己健康チェックとして言葉にしたり、清潔に保つ方法を知り実行予防できるようになった。 緊急時、災害時対応マニュアル・SIDSチェック・アレルギー対応・保健計画・感染症マニュアルによる研修・健康チェック表・検診報告・遊具点検チェック・緊急時職員体制・緊急時フローチャート・避難訓練等で継続的訓練、対策、対応をしている。 引き続き職員が理解し日々の訓練を通して浸透し、いざという時に適切に対応できるようにする。 |
| | ・アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。 | A | |
| | ・子ども一人ひとりの生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスを取っている。 | A | |
| | ・SIDSチェックには十分配慮し対応し、睡眠時の記録を取っており、睡眠している時は必ず、保育者が保育室にいる。 | A | |
| | ・年2回健康診断（内科検診・歯科検診）を行っている。 | A | |
| | ・衛生管理・感染症対策等に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している。 | A | |
| | ・年齢発達に合わせて、うがいや正しい歯磨き、手洗いの方法を指導している。 | A | |
| | ・子どもの健康について保護者との情報を共有している。 | A | |
| | ・施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている。 | A | |
| | ・緊急時に対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている。 | A | |
| | ・子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり安全に配慮して駆動できるよう、計画的に教育・保育を実施している。 | A | |
| | ・薬品や洗剤の管理、転倒防止や指詰め防止、避難経路の確保が適切である。 | A | |
| | ・栄養士・保育者等は衛生管理への配慮がなされている。 | A | |
| ・警察や消防署、近隣の病院との連携が取れる体制がある。 | A | | |
| 7 幼保小連携 | ・0.1歳児からの保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している。 | A | 全体的な計画の3つの柱を基本として、どの学年でも卒園までに育ってほしい10の項目を意識して養護と教育を一体的に行う事を意識して児童票・児童要録共に作成、引継ぎをしている。 |
| 8 特別支援 | ・必要に応じて支援センター等との助言を受けている。 | A | 松戸市との連携・特別支援児年間計画・面談相談・外部機関と連携を持っている。 |
| | ・子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観・授業参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている。 | A | |
| 9 保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援 | ・第三者評価や、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている。 | A | 保護者アンケート・行事アンケート・子育て支援イベント等で実施し、頂いたご意見ご感想等真摯に受け止め、改善できる部分は継続的に取り組んでいる。 |
| | ・行政や地域で行われている子育て支援施策を理解し取り組み、必要とする家庭を関係機関につなげている。 | A | |
| | ・施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している。 | A | |

考察

今年度5月から新型コロナウイルスが5類へと変わり、3年ぶりの日常に戻りつつある中での保育がスタートした。行事の在り方等戻しつつ保護者の期待もあって、最大限通常に戻してさらにお子さんの成長を見ていただけるような場面も設定した。地域活動として、子育て支援として、子育て相談や離乳食相談、ベビーマッサージを通して、園を知ってもらい、時にはイベント型として夏祭りやハロウィンパーティーなど園行事とは別に保育園を知っていただいたり、子育てで悩む親子の拠り所もなった。地域の方とも連携して、見守り、散歩に出かけたり地域清掃や雪かき等地域密着していく子育てにも今後力を入れていく。来年度も、さらに安心安全の保育教育である事を第一に、保護者さまの貴重なご意見にも耳を傾けつつ、お子さんが毎日楽しくそして、一人ひとりの無限の可能性を引き出す保育の実施をし保護者の方に安心してお子さんをお預けいただけますように、職員一同、自己研鑽していく。今後も常盤平地域に根差した保育園として様々な事に挑戦しながら地域と連携して保育教育活動に取り組んでいく。